

間質性肺炎 膠原病 肩こり 頭痛 など

このプログラムの趣旨

免疫力低下によりヘルペス6が唾液腺（潜伏場所）で再活性するため、やすやすと鼻腔口腔を介して呼吸器 誤嚥性肺炎（間質性肺炎）や脳や神経に侵入するのではないだろうか？。ステロイド 消炎鎮痛剤 ヒスタミン剤の対策と副作用への代替補完。

ヘルペス6の活性化症状

ヘルペス6はキスウィルスといわれ、子供のころの口移しから始まり、思春期にはほぼ全員の方に常在しています。風邪やストレスで時より起こっているといわれる再活性ですが、無症状無害なので、再活性しているのか知りえません。

免疫の反射である程度知ることができます。粘膜や消化管の異常、化学物質過敏症になったなど知覚の異常などである程度予測がつくようです。治らない頭痛や肩こり 肩の痛みなどもウィルス性の可能性があります。

常在で危険なウィルスではないですが、2025年発表の「コロナワクチンによる再活性」イエール大の警告で、今後の大きな問題と提起されています。

日本の国立感染症研究所も2025年9月に同様にコロナワクチン多数回接種者のIgG4に関連した免疫異常を報告しています。

コロナワクチン多数回接種者に起こっている免疫異常のため再活性化した常在ウィルス＝ヘルペス6※ KissヘルペスがEB癌ウィルスの再活性を招きガンを発症する流れをイエール大学が警告しており、ワクチン多数回接種者のヘルペス6の再活性を早期に止める必要があります。

非攻撃性のIGG4抗体の異常増加で、新しい免疫系から古い免疫系へシフトし、自分の免疫による自分の細胞への攻撃＝自己免疫疾患が始まると考えられます（新潟大 安保医師流）。

無害で無症状ゆえに再活性化に気が付かない厄介な性質により、また危険なウィルスでなかったため、現在のヘルペス6の再活性は無関心に放っておかれており、対応する薬が存在せず非常に危険な状態になっています。今後ワクチン接種者の異常免疫が続くのかは深刻な問題です。

交流磁気

細胞エネルギーの活性 ミトコンドリアを活性化 頭部や唾液腺 各10分1,000円

肩甲骨左右

自己免疫疾患の予防、および悪化防止 新しい系免疫の活性化 2000×2=4,000円

背中 ※猫背 脊柱・頸椎・手腕の血行

自己免疫疾患の予防、および悪化防止 新しい系免疫の活性化 1,000円

合計 約30分 6,000円

整体療院ふれあい

さいたま市南区南浦和2-22-12フィールビル1F 電話048-885-0350

ホームページ <http://www.douin.net/saitama/>

予約制 現金・ペイペイ払い可